

# JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠) 2016-2017 規定変更点に関する要約書

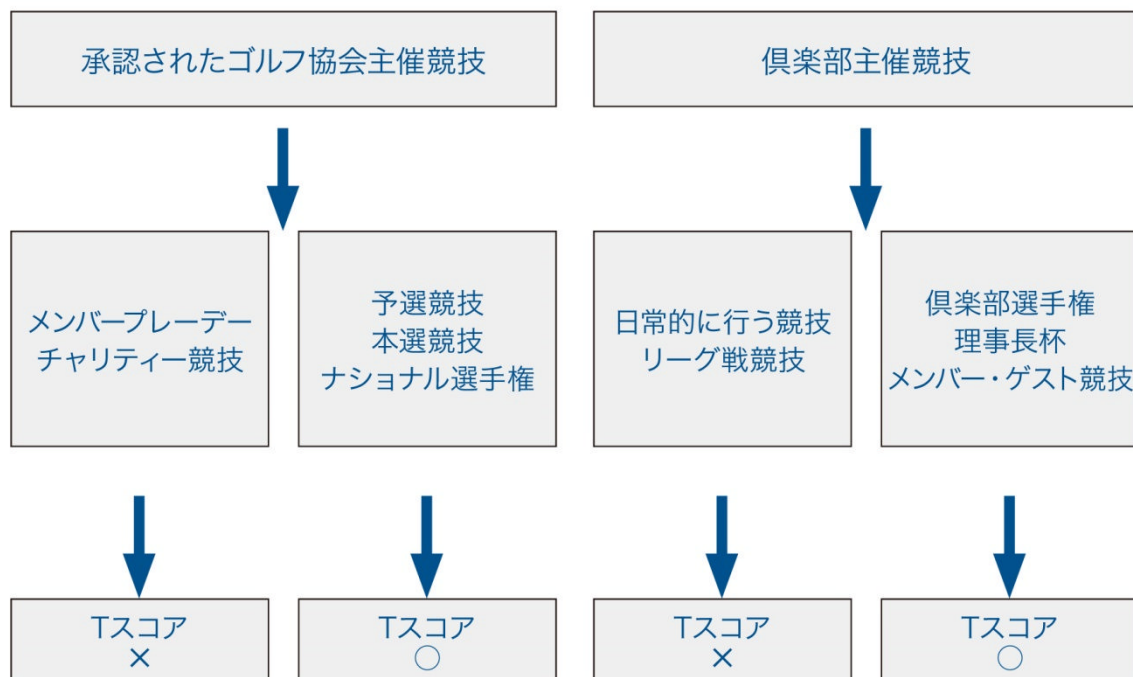
下記は、規定変更点の概要を説明した要約書です。詳しい内容については、新しい規定書をよく読んで下さい。  
JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)の全文は、JGA ホームページをご覧ください。

## 《全般的な変更点について》

- 規定文中に記載されている『～ゴルフ規則に従って～』という文言について。  
これまでの規定では、『～ゴルフ規則の本質に従って～』という文言を使用していましたが、今回の改訂で『本質に』という部分がすべて削除されました。これにより、ハンディキャップ査定全般に関して、ゴルフ規則に従ったプレーが基本的に重要である旨を明確化しました。

## 《規定 2:「用語の定義」》

- 「パー」の定義文を変更し、「スクラッチゴルファー」の用語を使用するようになりました。  
これまでは、『上級プレーヤーにとってそのホールで想定されるスコア』という文言を使用していましたが、今回の改訂で『スクラッチゴルファーが典型的なホールで出すと想定されるスコア』に変更し、定義内容をより明確化しました。但し、基本的な定義は従来と変わらず、ハンディキャップ規定で「パー」は重要な要素ではありません。
- 「スコアタイプ」の定義から、「I=インターネットスコア」を削除しました。  
インターネットスコアは、スコアのタイプではなく提出方法であるため、スコアタイプから除外しました。
- 「トーナメントスコア」の定義をより明確化しました。  
トーナメントスコア指定競技の数が多くなりすぎると、「ハンディキャップ低減換算表」に設定された低減効果が薄れる旨を説明する文章を追加しました。また下記のチャート図も追加し、定義内容をより分かりやすくしました。



※「承認されたゴルフ協会主催競技」には、地区連盟主催競技も含まれます。また、「承認されたゴルフ協会主催競技」の「メンバープレーダー、チャリティー競技」とは、公式競技以外の協会が主催するイベントなどを指します。

## 《規定 4-2:「プレーしなかったホール、ゴルフ規則に従ってプレーしなかったホール」》

### ■ 項目のタイトルを変更しました。

これまでの規定では、『～ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかった～』という文言を使用していましたが、『本質に』という部分が削除されました。

## 《規定 5-1a:「採用可能なスコア」》

### ■ 文章中の『～ゴルフ規則に従ってプレーしなければならない～』という部分を変更しました。

これまでの規定では、『～ゴルフ規則の本質に従ってプレーしなかった～』という文言を使用していましたが、『本質に』という部分が削除されました。

## 《規定 5-1d:「失格」》

### ■ 競技失格でもハンディキャップ査定にスコアを提出できる場合を、具体例を用いてより明確化しました。

例えば、失格の理由が、『ホールアウトを怠ったため』、『スコアカードの署名を怠ったため』、または『ストロークプレーで他の競技者の権利に影響するような規則に従うことを拒んだため(規則 3-4)』だった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できます。但し、その規則違反がプレーヤー本人に有利に働くものであると判断される場合(つまり、規則 1-2、規則 1-3 の違反、および規則 14-3 の 2 回目の違反、など)、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できません。

## 《規定 5-1e:「採用できないスコア」》

### ■ 採用できないスコアの具体例に、下記を追加しました。

- (v) 不適合クラブ、不適合球または不適合ティーペグを使用した場合、および規則 14-3 の 2 回目の違反があった場合。
- (vi) 1 人でプレーした場合。
- (vii) ゴルフ規則を一つ以上無視し、規定 4-1 並び 4-2 で定められたホールスコア修正を行わずにスコアを提出した場合、または規則違反による罰打を適切に付加しなかった場合。例えば、ストロークを行うときにクラブをアンカリングし、その違反による罰打をスコアに付加しなかった場合(規則 14-1b 参照)、そのスコアはゴルフ規則に従ったプレー結果を反映したものではなく、従ってそのスコアをハンディキャップ査定に採用することはできない。

新しい規則 14-1b、および規則 14-3 の規則変更を反映させました。また USGA ハンディキャップシステム規定の整合性を高めるため、1 人でプレーした場合も採用できないスコアに加えました。

## 《規定 6-3:「ハンディキャップインデックスとスコア記録」》

### ■ スコア記録の閲覧方法に関する文言を変更しました。

スコア記録はコンピューターや電子ファイル(およびそのプリントアウト)などを通して容易に閲覧・掲示できるため、これまで明記されていた、紙面に記録リストを作成するための要件を削除しました。

## 《規定 8-4c(iii):「一時的な身体障害」》

- 一時的な身体障害に関するインデックスの修正方法を変更しました。  
恒久的な身体障害と同様に、一時的な身体障害も「修正ハンディキャップインデックス(M)」による修正を行うようになりました。これにより、修正方法がシンプル化され、委員会やプレーヤーにとって分かりやすくなりました。この方法で修正したインデックスはすべて「M」を付記して表示し、ホーム倶楽部以外でも使用できます。

## 《規定 9-5:「競技のクラス分け」》

- 「競技のクラス分け」に関する項目を新規追加しました。  
ストロークプレー競技のクラス分け、およびマッチプレー競技の組合せに関する奨励方法を紹介しています。

## 《裁定および付則の変更点》

- 裁定 4-2/1. JGA ハンディキャップ規定が定める「ゴルフ規則に従ってプレーしなかったホール」の説明  
3 つの具体例を用いて、より分かりやすい内容に変更しました。
- 裁定 4-2/2. プラスコースハンディキャップのプレーヤーが規定 4-2 を適用する場合の手順  
具体的な手順を説明する文章を新規追加しました。
- 裁定 5-1a/2. (保留)  
規定 5-1e の変更に伴い、「1 人でプレーした時のスコア」に関する裁定を削除しました。
- 裁定 5-1e/2. 距離計測機器、またはその他の機能を持つ機器を使用したプレーのスコア  
ゴルフ規則 14-3 の変更に伴い、文言を変更しました。
- 裁定 5-1e/3. 人工の機器や異常な携帯品を使用したり、携帯品を異常な方法で使用したプレーのスコア  
ゴルフ規則 14-3 の変更に伴い、文言を変更しました。
- 裁定 6-1/1. 長期間プレーを止めていたプレーヤーが、プレーを再開した場合  
対処手順を明確化しました。以前のスコア記録がある場合は、委員会によるハンディキャップインデックスの修正(M)で対処し、無い場合は新たにインデックスを取得させます(スコア 5 枚提出後)。
- 裁定 8-4c/1. 一時的な身体障害を持つプレーヤーの扱い  
規定 8-4c(iii)の変更に伴い文言を変更しました。ローカルハンディキャップではなく、ハンディキャップインデックス M で対応します。
- 裁定 8-4c/2. 恒久的な身体障害を持つプレーヤーの扱い  
規定 8-4c(iii)の変更に伴い文言を変更しました。新規にカード 5 枚を提出して新しいハンディキャップインデックスを取得するまでの間、暫定的にハンディキャップインデックス M で対応できます(ローカルハンディキャップは使用しない)。
- 付則 E: スコアの確率表  
730 万枚以上におよぶ実際のスコア(トーナメントスコア以外も含む)に基づいて、確率表の内容(数値)を変更し、ネットディファレンシャルの範囲を 3 オーバーから 12 アンダーまで広げました。この確率は、USGA ハンディキャップリサーチチームの実証データに基づいています。